

アジア知的財産フォーラム in 川崎国際環境技術展2011

海外へ進出を考えている企業の皆さんへ

川崎市では、市内に蓄積された優れた環境技術の海外移転を推進することで、産業の活性化と地球環境問題の解決への貢献に全市をあげて取り組んでいます。また、こうした取り組みを通じて海外に対する市内産業の発信力を高め、アジア等との連携を強化することにより、市内企業の海外展開の支援を進めています。

アジア知的財産フォーラムでは、特許・技術・ノウハウなどの知的資産を活用し海外への事業展開を考えている企業の方々に、①海外での技術移転を伴う事業展開を促進するための知的資産経営戦略の重要性や、②海外展示会でのビジネスマッチングの事例報告、③アジアにおける環境技術のニーズ、日本の海外展開支援等についての情報発信を行います。

PROGRAM

14:00～15:00 基調講演

◆「国際事業競争力のからくり ～日本企業を救う処方箋を考える～」

妹尾 堅一郎氏

(東京大学特任教授、NPO法人産学連携推進機構理事長)



15:10～15:50 事例報告

環境技術の香港経由での中国展開

◆「香港と川崎市の連携」

ダニエル・チェン氏 (香港環境保護工業協会会長)

◆「香港展示会の活用と今後の展望について」

株式会社オスモ、株式会社ヒラミヤ

16:00～17:00 パネルディスカッション

◆「環境ビジネス交流 ～川崎からアジアへ～」

[パネラー] 曹 広益氏 (上海交通大学教授)

朴 寅哲氏 (大邱慶北経済自由区域庁庁長)

植田 大氏 (JETRO 横浜貿易情報センター所長)

[モデレータ] 上野 裕子氏 (三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 経済・社会政策部主任研究員)

2月16日(水) 14:00～17:00

とどろきアリーナ 川崎市中原区等々力1-3
1階 メインアリーナ・センターステージ

定員120名(先着順)・参加無料

◆参加ご希望の方は、当日会場へお越しください。皆さまのご来場をお待ちしております。

事前に下記のURLより、川崎国際環境技術展2011への来場登録をされると、スムーズにご入場いただけます。

【関連イベント】川崎国際環境技術展2011に関する情報 <http://www.kawasaki-eco-tech.jp> かわさきエコテック

検索

主催：川崎市

【お問い合わせ先】川崎市 経済労働局 企画課 Tel.044-200-3714
メールアドレス：28kikaku@city.kawasaki.jp



■基調講演

妹尾 堅一郎氏

東京大学特任教授
NPO法人产学連携推進機構理事長

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フィルム株式会社(人事勤労、マーケティング事業戦略)を経て、英國国立ランカスター大学経営大学院システム・情報経営学修士課程修了、博士課程満期退学。92年帰国後、産能大学経営情報学部助教授、慶應義塾大学助教授(同大学知的資産センター副所長、慶應学術事業会代表取締役、丸の内シティキャンパス初代校長)、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授を経て、2002年東京大学へ。先端科学技術研究センター特任教授、国際・产学共同研究センター客員教授を経て、2008年より現職。



■事例報告

ダニエル・チェン氏

香港環境保護工業協会会長

香港環境産業協会の創設会長、持続性産業委員会の副議長、香港工業連盟第26部会(環境関連産業)議長、商界環保協会のディレクターを務める。Dunwell Enviro-Tech (Holdings) Ltdのマネージング・ディレクター。環境問題に対する取り組みや環境事業の成功を評価され、2007年に香港特別行政区政府(HKSAR)から名誉賞を授与されている。



■事例報告

株式会社オスモ

代表取締役社長
野口 武志氏

<企業情報>

1981年創業。本社：川崎市麻生区栗木2-6-7

純水・超純水をメインとする水処理分野において「お客様の必要とする水を効率よく造る設備」の提案、販売、アフターサービスまでトータルに提供。水と環境を取り巻く時代の要請と顧客の要望に高い専門性で応えていくことを目指している。



■事例報告

株式会社ヒラミヤ

代表取締役社長
平宮 健美氏

<企業情報>

1983年創業。本社：川崎市高津区久地3-4-1

炭酸ガスレーザー加工機等による板金加工や表面処理加工のほか、イメージスケッチからの金属・樹脂を使った試作・量産製作、地球環境保護を考えた間伐材の整理、オリジナルの空気清浄機の製造、販売までをこなす。



■パネルディスカッション パネラー

曹 広益氏 (ソウ・コウエキ)

上海交通大学教授

1941年生まれ。工学博士。上海交通大学博士号取得指導教授。

上海交通大学を卒業後、同大学教員中に日本制御工学の大家である大阪大学の増渕正美教授の下に留学。その後、法政大学客員教授を経て(財)電力中央研究所で燃料電池の研究に携わり、1998年に交通大学に復帰し、燃料電池研究所を創設して現在に至る。帰国後は多くの日本企業やNEDOなど日本の研究機関との間で国際間の共同研究に携わり、技術移転にも明るい。



■パネルディスカッション パネラー

朴 寅哲氏 (パク・インチョル)

大邱慶北経済自由区域庁府長

1974年ソウル大学卒業(経済学学士)後、国務総理室経済担当官(事務官、書記官)、経済企画院経済企画局、政策調整室、審査評価局課長、大統領秘書室経済担当行政官、秘書官、米ジョージワシントン大学付設東アジア経済研究所客員研究員、青瓦台(社会間接資本投資企画団、国家競争力強化企画団)勤務、財政経済院経済広報企画団長(ASEM準備企画団兼任)、企画予算処予算管理局長、財政改革団長、財政企画局長、企画予算処予算管理局長財政企画室長、企画管理室長、政策広報管理室長、大徳研究開発特区支援本部理事長を経て、2008年より現職。



■パネルディスカッション パネラー

植田 大氏

JETRO 横浜貿易情報センター所長

1962年生まれ。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業、ジェトロ入会。海外調査部欧州課、ジェトロ・ウィーンセンター、ジェトロハンブルク事務所長、対日投資課長等を経て2009年4月より現職。



■パネルディスカッション モデレータ

上野 裕子氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 経済・社会政策部主任研究員

1991年(株)三和総合研究所(現 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))入社。知的財産、技術移転、産学連携、研究開発政策評価、創業・ベンチャー支援など産業政策に関わる調査研究・政策立案支援を主に手がけている。中国進出時の知的財産面での留意点を述べた経済産業省の「中国知財ビジネスの手引き」や「取引・連携で知的財産を守るためのポイント」等を執筆。